

二八一六番

うらぶれて 物ものな思おもひそ 天あま雲ぐもの たゆたふ心こころ
我わが思おもはななくに

二八一七番

うらぶれて 物ものは思おもはじ 水み無な瀬せ川がは ありても水みづ
は 行ゆくといふものを

二八一八番

かきつはた 佐さ紀き沼ぬの菅すげを 笠かさに縫ぬひ 着きむ日ひを
待まつに 年としそ経へにける

二八一九番

おしてる 難な波は菅すげ笠かさ 置おき古ふるし 後のちは誰たが着きむ
笠かさならなくに